

ごあいさつ

第83回日本公衆衛生学会総会
学会長 玉腰 暁子
北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学教室 教授

このたび、第83回日本公衆衛生学会総会を2024年10月29日（火）から31日（木）、北海道札幌市で開催するにあたり、皆さまにご挨拶申し上げます。

公衆衛生とは、「共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進をはかる科学(Science)・技術(Art)(C.E.A. Winslow; WHO 1949)」とされ、科学的知見だけでなく現場での実践を通じて“Public”の“Health”を守り増進する役割を担っています。パブリックヘルスの多様性から幅広く、行政、大学等の研究・教育機関、保健・医療・介護・福祉や職域の現場実践者、企業等から、毎年約4,000人が集う大きな会の責任を任せられ、身の引き締まる思いであります。

上述の公衆衛生関係者間はもちろん、公衆衛生関係者と一般市民、患者、民間団体など様々なステークホルダー間、さらには過去と現在、現在と未来等、あらゆる関係者間で互いの立場を理解、尊重し活動を深めていくためには、対話が基本となります。そして多様な人々が共に手を取り合って、すべての人がその人らしい健康を享受しながら生き生きと暮らせる社会を拓くことを目指し、本総会のメインテーマを「ともにいきる 協創を拓く対話」といたしました。この10年を振り返っても、便利な機器や最先端技術の開発が進む一方で、新興再興感染症の出現、地球温暖化に伴う気候変動や地震など自然災害による大規模災害の発生、核戦争の危機等、人類は様々なリスクに直面しています。日本社会全体では高齢化が進み、社会保障のあり方だけでなく、若者の生きがい感の喪失や貧困問題が顕在化しました。地方の過疎化は深刻で、地域格差が広がっています。そのような時だからこそ、人々が笑顔で暮らせるように、公衆衛生関係者の知恵を結集し、量的な研究だけでなく、様々な対話から得られる知見や質的な研究も取り込み、研究成果を実践につなげるアクションリサーチ、実装研究のような活動に展開されていく必要があると信じております。

今回は、2005年以来の北海道での開催となります。秋の味覚と過ごしやすい気候に恵まれた北海道の地に多くの会員が集い、学びあえる場となるよう、関係者一同準備を進めているところです。

また今期より、日本公衆衛生学会では協力会員制度が始まります。これは、全国公衆衛生関連学協会連絡協議会（全公連）の加盟学会会員または社会医学系専門医協会構成学会の会員、あるいは国または地方公共団体の職員（関連機関職員を含む）で、日本公衆衛生学会に入会したことがない方に対し、入会后翌年の事業年度終了時まで会費を無料とする制度で、その間であれば総会において共著者として演題に名を連ねることも可能です。グルメや歴史ある観光名所、雄大な自然等、数々の魅力にあふれる札幌で開催いたしますこの機会に、ぜひお近くの非学会員もお誘いいただき、多くの演題登録と学会へのご参加をよろしく願いいたします。

皆さまの本学会総会へのご参加を心よりお待ちしております。

第83回日本公衆衛生学会総会（札幌）ご案内〈第一報〉

1. 会 期
2024年10月29日（火）～31日（木）
2. 会 場
札幌コンベンションセンター（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）
3. 名誉学会長・名誉顧問・学会長・副学会長・監事
名誉学会長：鈴木直道（北海道知事）
名誉顧問：秋元克広（札幌市長）
学会長：玉腰暁子（北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学教室教授）
副学会長：松家治道（北海道医師会会長）
副学会長：道場 満（北海道保健福祉部長）
副学会長：西條政幸（札幌市保健福祉局医務・健康衛生担当局長）
顧問：寶金清博（北海道大学総長）
監事：遠藤篤也（北海道保健福祉部健康安全局地域保健課長）
監事：関 弘司（札幌市保健福祉局保健所健康企画課長）
4. メインテーマ
ともにいきる 協創を拓く対話
5. プログラム（予定）
学会長講演，特別講演，メインシンポジウム，シンポジウム，奨励賞受賞講演，教育講演，感染症リスクアセスメント研修会，ランチョンセミナー，スポンサードセッション，一般演題，自由集会，各種展示等
6. 学会総会ホームページ
<https://plaza.umin.ac.jp/jsph83/>
7. 事務局（実行委員会，学術部会含む）
北海道大学大学院医学研究院社会医学分野公衆衛生学教室内
E-mail: jsph83@ec-mice.com
8. 各種申込期間（予定）
公募シンポジウム募集期間 2024年3月11日（月）～4月12日（金）
演題募集期間 2024年4月1日（月）～5月24日（金）
自由集会申込期間 2024年4月1日（月）～5月24日（金）
事前参加登録期間 2024年4月1日（月）～8月30日（金）
9. 今後の情報
日本公衆衛生学会雑誌および学会総会ホームページ（上記）で順次お知らせ致します。